

白壁守ろう「火の用心」

柳井 「金魚」手に年末夜回り

年の瀬が押し迫る28日夜、柳井市中心部の白壁の町並みで恒例の「年末夜回り」があった。国の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）に選定され、商家が立ち並ぶ一帯を、住民たちが防火を呼び掛けながら練り歩いた。



白壁の町並みで防火を呼び掛けながら歩く子どもたち

(山本祐司)

「火の用心 マッチ一本 火事の元」。拍子木の音とともに、子どもたちの元気な声が響く。午後8時と9時の2回、世話役を務める「本陣」の民家に集まった24人は2班に分かれて出発。小型ライトを入れた金魚

魚ちようちんを持ち1キョずつ巡った。柳井中3年の原紫音さん(15)は「柳井の数少ない名所。火事がないよう平和な町であってほしい」と願った。

一帯は江戸時代中期に100棟以上を焼く大火に繰

動画は中国新聞 デジタルで



り返し見舞われた。1984年に重伝建に選ばれた後、住民グループ「白壁の町並みを守る会」が火災から守ろうと99年から地元自治会と夜回りを続ける。木阪泰之会長(59)は「コロナ禍でも地域の人が集まってもらい心強い。一体となって町並みを守りたい」と力を込めた。

出場32チーム決まる 大島少年サッカー

第25回サザン・セト大島少年サッカー大会(周防大島町、大島郡体育協会、中国新聞防長本社など主催)に出場する32チームが決まった。大会は2022年3月26、27日の2日間あり、周防大島町西方の町陸上競技場などで熱戦を繰り広げる。開催は3年ぶり。新型コロナウイルスの影響

響で、参加チームは県勢のみ。直近の19年大会で3位になった愛宕スポーツ少年団(岩国市)や同5位だった灘SSS(同)など9市4町から参戦する。応募が32チームと予定より4チーム減ったため、会場は町内2会場4コートに変更する。26日に予選リーグ、27日に決勝・順位決定

トーナメントを経て、町陸上競技場で決勝戦がある。出場チームは次の通り。

(川井直哉)

久賀スポ少、大島スポ少(以上周防大島町)、麻里布SCC、愛宕スポ少、灘SSS、美和スポ少(以上岩国市)、和木スポ少(和木町)、周東FCU-12、SAファイターズ(以上柳井市)、麻郷スポ少(田布施町)、平生スポ少(平生町)、周南菊川SCU-12、

徳山下松港の絵を

周南市にソロプチ徳山グッズ

周南市の奉仕団体、国際ソロプチミスト徳山(23人)は、2022年2月に開港100周年を迎える徳山下松港をイメージした水彩画を市に贈った。同市などでつくる記念事業実行委員会が発売グッズの原画に活用する。



水彩画を紹介する 小野次期会長(右)

金属加工の技術 おもちゃで体感

山口で体験会

県内企業の優れたものづくりの技術をおもちゃで体感する「すくいおもちゃ体

FCコンフィアンサ、K&K SCC、富田FC、今宿岐山FC スポ少、EDEV ALD football lab o、FuturoFC、FCリベルダーデ山口(以上周南市)、光井少年SC(光市)、小都スポ少、平川スポ少、モルゲンレーテSV(以上山口市)、原スポ少、藤山スポ少、小羽山スポ少、新川スポ少(以上宇部市)、有高FC、高千帆スポ少、厚陽スポ少(以上山陽小野田市)、FCレプロス(下関市)、美祿SS(美祿市)

国際ソロプチが23年に認証を迎える記念事業。今秋、徳山下松に依頼し、12日した。藤井律子を渡した小野浩は「明るい感じがあった。地域貢献と話していた。

「明るい感じがあった。地域貢献と話していた。

同館の職員がスの板を折り曲縦約10センチ、横約ツクの模型を「荷台に水を入ない、全国的に折り曲げ技術で参加者は10センチの板を使い、水荷台づくりに挑戦を折り重ねた。職員は箱を作るのがいかに感じるよねけていた。

卓球の世界選手権で銅メダルを獲得した野田学園高

後輩との合同練習では、かつて自身も汗を流した市の小学1年生

家族で訪れた市の小学1年生